株式会社 タクマ

証券コード：6013

技術を大切に、人を大切に、地球を大切に

株主通信

第115期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

株主の皆さまへ

代表取締役社長

南條博昭

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年度は、将来予想される事業環境の変化を見据え、企業ビジョンの達成とその後の着実な成長に向けて企業力を高めていくことをテーマとする、第12次中期経営計画（2018～2020年度）の初年度にあたり、当社グループは一丸となって目標達成に向け取り組んでまいりました。

その結果、2018年度の当社グループの業績は、主力のごみ処理プラントやバイオマス発電プラントなどの建設工事や運営事業の受注により受注高が前年度を上回ったほか、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗したことで売上高が増加しました。また、原価低減が進み利益率が改善したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前年度を上回りました。

本中計の２年目にあたる2019年度につきましても、グループの総力をあげて本中計の目標である、計画期間（2018～2020年度）累計の連結経常利益330億円の達成に向けてまい進してまいります。

今後とも、タクマグループになおいっそうのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆さまへ …… 1
トピックス …… 3
事業の概況 …… 5
連結財務諸表 …… 7
会社概要、主要関係会社 …… 9
株式の状況 …… 10

表紙写真：2018年度の完成物件
ごみ処理プラント（左）と
バイオマス発電プラント（右）

2018年度の業績概要

2018年度の当社グループの業績は、ごみ処理プラントやバイオマス発電プラントを中心に引き続き堅調な需要があり、主にこれらの建設工事や運営事業の受注増加により、受注高は1,798億円（前年度比1.5％増）と前年度を上回りました。

また、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗し、売上高が1,219億円（同3.2％増）と増加したことに加え、原価低減が進み利益率が改善したことにより、損益面では、営業利益116億円（同15.7％増）、経常利益123億円（同15.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益88億円（同12.8％増）とそれぞれ増加となりました。

2019年度の業績見通し

稼働から長期間が経過し老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化工事の需要のほか、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など、当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたインフラ整備などの公共投資の増加や景気の回復により、工事価格などは依然として高水準で推移しております。

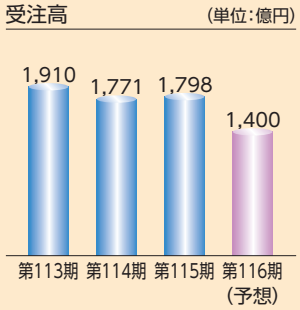
2019年度の業績につきましては、工事価格、資機材価格が引き続き上昇傾向にあり、また、人材の確保・拡充のための費用を中心に営業費用の増加を見込むものの、受注済みプラントの建設工事が引き続き順調に進捗することから、売上高は1,300億円、営業利益は118億円、経常利益は125億円、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円といずれも2018年度を上回る見通しです。

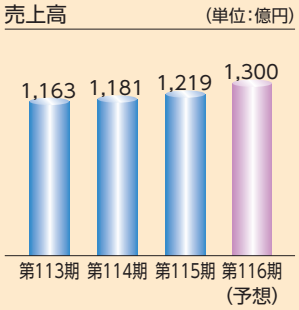
配当について

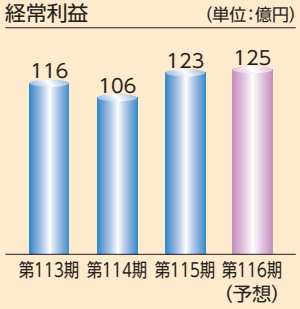
当社は、激化する市場での競争力を確保するために企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持することを基本に、業績等を総合的に勘案し、利益還元を行う方針としております。

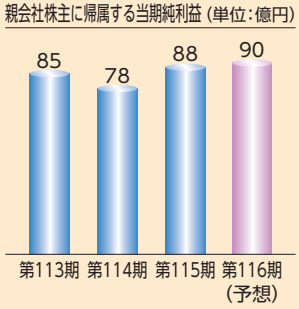
この方針のもと、2018年度につきましては期末配当金を1株あたり12円とし、昨年12月の中間配当金と合わせ年間22円とさせていただきました。2019年度につきましては、1株あたり年間26円の配当（中間13円、期末13円）とさせていただく予定です。

業績の推移と予想









今治市クリーンセンター（バリクリーン）第５回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）グランプリを受賞

概要

３月15日、当社は（一社）レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「第５回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）2019」において、今治市、NPO今治センター、今治ハイトラスト㈱と共に同アワードの最高位にあたる“グランプリ”を受賞しました。

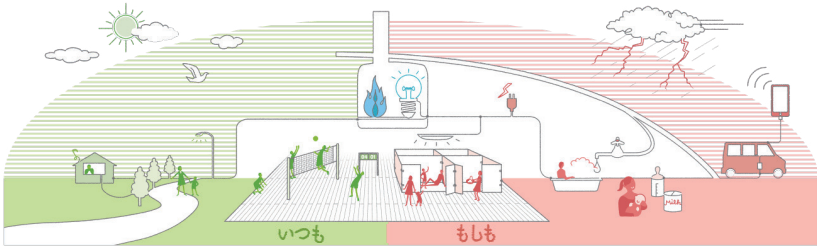
今治市クリーンセンター（バリクリーン）

『フェーズフリー』の取り組み

今治市クリーンセンターは、「安全安心で人と地域と世代をつなぐ今治市クリーンセンター」を基本コンセプトとし、今治市民約16万人分のごみを安定的に焼却処理し、ごみの熱エネルギーを利用して発電を行う地域のエネルギー拠点として、2018年４月に供用を開始しました。

本施設では防災の取り組みを平常時にも役立てる『フェーズフリー※』の概念を、全国のごみ処理施設で初めて取り入れました。平常時は併設する大研修室（体育館）などを活用し『市民が集い、地域交流を活性化する場』として、災害時には、あらゆる市民が安心して避難できる、『地域の指定避難所』として、“いつも（平常時）”と“もしも（災害時）”の両方で、地域に貢献する施設を実現しています。また、ソフト面でも独自の事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）を策定し、今治市、NPO今治センター、今治ハイトラスト㈱が一体となって避難所運営を行うことで、市民が安心して避難できる環境を整えています。

これらの先進的な取り組みが高い評価をうけ、このたびの受賞となりました。



平常時の役割
- ●廃棄物処理
- ●環境啓発活動
- ●イベント開催
- ●地域への電力供給
- ●市民活動の場
- ●施設情報発信

災害時の役割
- ●廃棄物処理継続
- ●災害廃棄物処理
- ●避難所運営
- ●避難所への電力供給
- ●避難スペース開放
- ●災害情報発信

ハード面の取組み（強靭な施設、設備）

ソフト面の取組み（人的支援/地域のつながり）

※『フェーズフリー』とは、防災に関わる新たな概念であり、「平常時」「災害時」という“フェーズ”を取り払って、平常時と災害時の両方で差がなく利用でき、日常の価値と非常時の価値の両方を同時に高めるというものです。

トピックス　タクマビル新館（研修センター）

（仮称）タクマビル新館（研修センター）の建設と、Solution Labの開設を決定

タクマビル新館　完成イメージ

■（仮称）タクマビル新館（研修センター）

当社は、このたび当社が本社社屋で実施しているプラントの遠隔監視・運転支援機能の更なる拡充と、社員の育成・能力開発の充実を目的にタクマビル新館を建設します。本施設は、免震構造を採用することで高い耐震性能を備え、地震などの自然災害に対する防災拠点機能も有しています。

既存の本社敷地内に建設する新館は、CLT（Cross Laminated Timber：直交集成材）と耐火集成材を採用した６階建ての次世代木質構造建築で、本事業は、国土交通省の「平成30年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択されました。各フロアで、CLTをはじめとする木の内装を積極的に活用することで、温もりのある空間を作り、活発な議論による自由な発想が生まれる、タクマの新たな価値創造の拠点を目指します。本施設は、2020年10月の完成を予定しています。

施設概要

①所在地：兵庫県尼崎市金楽寺町２丁目２番３３号（本社敷地内）
②延べ床面積：3,491.87㎡（6階建）
③完成予定：2020年10月
④平成３０年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に採択

Solution Lab運転イメージ

■Solution Lab（ソリューション・ラボ）

プラントの遠隔監視・運転支援機能の更なる拡充のため、新たに「Solution Lab」を開設します。

当社は、2004年に「総合運転支援センター」の運用を開始して以来、ごみ処理プラントの遠隔監視、運転支援を行っていますが、「Solution Lab」では、これまでに培ったノウハウや最新のICT（IoT、ビッグデータ、AI）を活用し、質の高いサービスを推進します。

開設後は、ごみ処理プラントに加え、水処理事業やボイラプラント事業にもサービスを展開し、お客様にとって最適なソリューションと、更なる安心・安全な施設運営に向けたサポートを提供します。

【Solution Labの目指す役割】

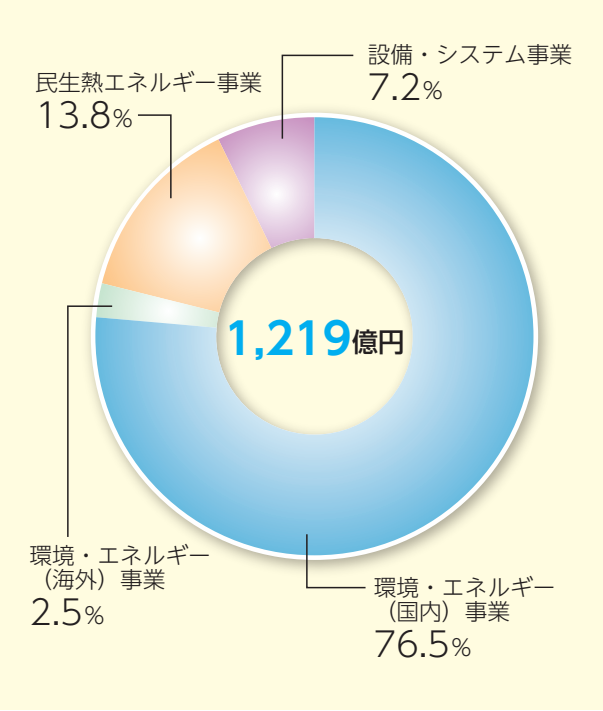
Solution Labは、「運転・運営支援」「課題解決、研究」「人材育成・技術継承」の３つの役割を担います。

施設概要

①所在地：兵庫県尼崎市金楽寺町２丁目２番３３号（新館6階）
②施設機能：１）遠隔監視・運転支援（24時間稼働）
２）データ解析、課題解決
３）教育、運転訓練（シミュレーター）
４）WEB会議
５）セルフモニタリング

事業の概況

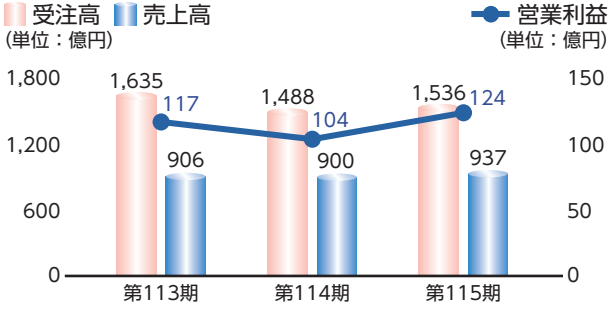
売上高構成比率（2018年度）



環境・エネルギー（国内）事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント、ガスタービンコージェネレーションシステムの設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理、電力小売を行っております。

受　注　高	153,628	百万円（前年同期比3.2%増）
売　上　高	93,724	百万円（前年同期比4.1%増）
営 業 利 益	12,405	百万円（前年同期比18.3%増）



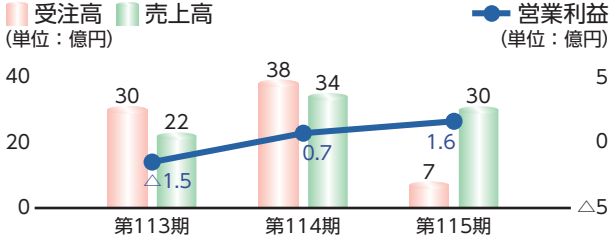
一般廃棄物処理プラント

海外バガス焚きボイラプラント

環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

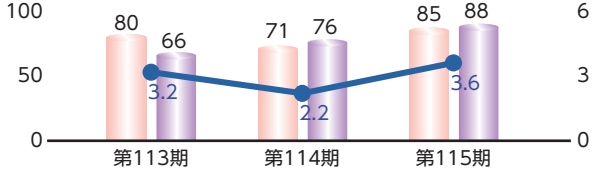
受　注　高	**799** 百万円 （前年同期比79.4%減）
売　上　高	**3,057** 百万円 （前年同期比10.1%減）
営 業 利 益	**163** 百万円 （前年同期比109.9%増）



設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

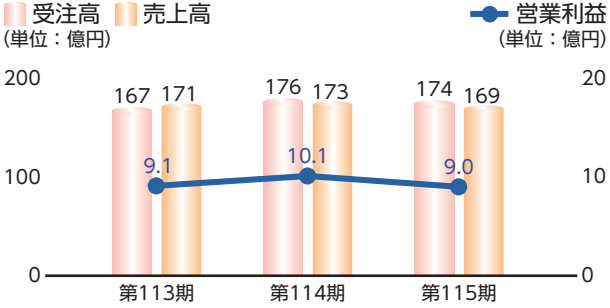
受　注　高	**8,567** 百万円 （前年同期比20.0%増）
売　上　高	**8,836** 百万円 （前年同期比14.8%増）
営 業 利 益	**361** 百万円 （前年同期比58.2%増）



民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。

受　注　高	**17,476** 百万円 （前年同期比1.2%減）
売　上　高	**16,954** 百万円 （前年同期比2.1%減）
営 業 利 益	**904** 百万円 （前年同期比10.9%減）



真空式温水発生機
バコティンヒーター シリーズ
G/KSAN-201型/251型/301型

小型貫流ボイラ
エクオス シリーズ
EQO-2000KMR/AMR型

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当　期 2019.3.31現在	前　期 2018.3.31現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,769	60,863
受取手形及び売掛金	49,507	50,355
商品及び製品	816	732
仕掛品	2,086	1,887
原材料及び貯蔵品	1,453	1,686
その他	2,315	1,827
貸倒引当金	△27	△38
流動資産合計	**117,919**	**117,315**
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,259	3,465
機械装置及び運搬具（純額）	1,566	1,715
土地	3,012	3,011
その他（純額）	455	309
有形固定資産合計	**8,293**	**8,501**
無形固定資産	**313**	**339**
投資その他の資産		
投資有価証券	18,948	21,218
長期貸付金	353	684
繰延税金資産	4,809	2,080
その他	5,459	1,819
貸倒引当金	△109	△470
投資その他の資産合計	**29,461**	**25,332**
固定資産合計	**38,068**	**34,173**
資産合計	**155,988**	**151,488**

	当　期 2019.3.31現在	前　期 2018.3.31現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,927	22,420
電子記録債務	15,941	12,686
短期借入金	761	8,144
未払法人税等	3,628	280
前受金	9,797	13,591
賞与引当金	2,970	2,942
製品保証引当金	149	85
工事損失引当金	1,739	372
関係会社整理損失引当金	999	—
その他	4,331	3,785
流動負債合計	**62,245**	**64,311**
固定負債		
長期借入金	342	458
役員退職慰労引当金	184	183
退職給付に係る負債	9,745	9,405
その他	382	402
固定負債合計	**10,655**	**10,451**
負債合計	**72,901**	**74,762**
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,768	3,768
利益剰余金	60,865	52,948
自己株式	△235	△235
株主資本合計	**77,765**	**69,848**
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,389	7,161
繰延ヘッジ損益	8	△46
為替換算調整勘定	△4	2
退職給付に係る調整累計額	△462	△559
その他の包括利益累計額合計	**4,930**	**6,557**
非支配株主持分	**390**	**319**
純資産合計	**83,087**	**76,725**
負債純資産合計	**155,988**	**151,488**

（注）「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　2018年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、前期（第114期）については遡及適用後の数値を記載しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当　期 2018.4.1～2019.3.31	前　期 2017.4.1～2018.3.31
売上高	121,950	118,198
売上原価	94,490	93,371
売上総利益	27,460	24,826
販売費及び一般管理費	15,856	14,796
営業利益	**11,604**	**10,029**
営業外収益	997	946
営業外費用	267	306
経常利益	**12,334**	**10,669**
特別利益	—	200
特別損失	1,194	60
税金等調整前当期純利益	**11,139**	**10,810**
法人税、住民税及び事業税	4,178	1,352
法人税等調整額	△1,990	1,580
当期純利益	**8,951**	**7,877**
非支配株主に帰属する当期純利益	97	30
親会社株主に帰属する当期純利益	**8,853**	**7,847**

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当　期 2018.4.1～2019.3.31	前　期 2017.4.1～2018.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,817	5,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,382	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,119	△1,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	304	3,150
現金及び現金同等物の期首残高	60,283	57,132
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	439	—
現金及び現金同等物の期末残高	61,027	60,283

連結株主資本等変動計算書

（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,367	3,768	52,948	△235	69,848	7,161	△46	2	△559	6,557	319	76,725
当期変動額												
剰余金の配当			△1,570		△1,570							△1,570
親会社株主に帰属する当期純利益			8,853		8,853							8,853
連結範囲の変動			656		656							656
持分法の適用範囲の変動			△22		△22							△22
自己株式の取得				△0	△0							△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△1,771	54	△6	96	△1,626	71	△1,555
当期変動額合計	—	—	7,917	△0	7,916	△1,771	54	△6	96	△1,626	71	6,361
当期末残高	13,367	3,768	60,865	△235	77,765	5,389	8	△4	△462	4,930	390	83,087

会社概要 (2019年3月31日現在)

設　　立　1938年6月10日
資　本　金　13,367百万円
本店の所在地　〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609
連結会社従業員数　3,619名

役　　員 (2019年6月26日現在)

取締役 会長執行役員	加藤 隆昭		常務執行役員	内山 典人	設計センター長	執行役員	中村 圭志	建設センター副センター長
代表取締役社長 社長執行役員	南條 博昭		常務執行役員	足立 光陽	エネルギー本部長	取締役 (常勤監査等委員)	榎本 康	
取締役 副社長執行役員	沼田 謙悟	経営企画本部長	執行役員	田口 彰	技術センター長	社外取締役 (監査等委員)	佐竹 弘通	
取締役 専務執行役員	西山 剛史	営業統轄本部長 兼 事業管理本部長	取締役 執行役員	田中 康二	コンプライアンス・CSR推進本部長 兼 コーポレート・サービス本部長	社外取締役 (監査等委員)	岩橋 修	
取締役 専務執行役員	竹口 英樹	エンジニアリング統轄本部長 兼 管理センター長	執行役員	冨田 秀俊	環境本部長	社外取締役 (監査等委員)	村田 実	
常務執行役員	眞鍋 隆	国際本部長	執行役員	前田 典生	プロジェクトセンター長	社外取締役 (監査等委員)	藤田 知美	
常務執行役員	谷 良二	建設センター長	執行役員	濵田 州朗	経営企画本部副本部長			

主要関係会社 (2019年6月26日現在)

国　内

株式会社日本サーモエナー
各種ボイラ及び関連機器の販売

株式会社タクマテクノス
環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理

株式会社北海道サニタリー・メンテナンス
下水処理施設等の維持管理運営

株式会社タクマテクノス北海道
ごみ処理施設等の維持管理運営

株式会社サンプラント
空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理

タクマ・エンジニアリング株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計

タクマシステムコントロール株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計

株式会社ダン・タクマ
クリーン機器、ケミカルエアフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売

協立設備株式会社
環境施設・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理

株式会社環境ソルテック
水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業

田熊プラントサービス株式会社
各種ボイラ、環境設備等のメンテナンス業務

長泉ハイトラスト株式会社
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理

藤沢ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

いわて県北クリーン株式会社
一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務

ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

阿南ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

くるめハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

ほくたんハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

諏訪湖ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

今治ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

株式会社タクマエナジー
電力小売事業

海　外

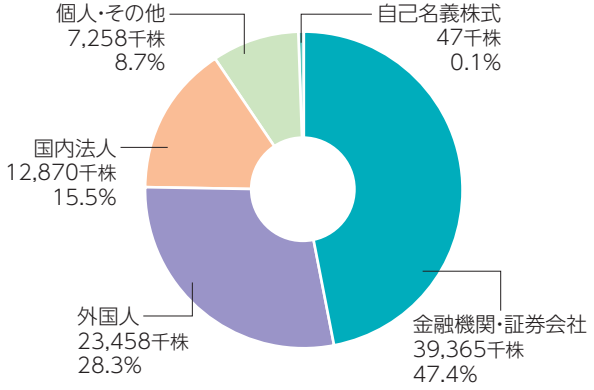
臺田環工股份有限公司（台湾）
ごみ処理施設等のメンテナンス業務

SIAM TAKUMA Co., Ltd.（タイ）
エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	321,840,000株
発行済の株式総数	83,000,000株
株主総数	4,005名

■所有者別分布状況



■大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	8,415	10.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,980	9.6
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,022	4.8
日本生命保険相互会社	3,593	4.3
THREADNEEDLE INVESTMENT FUNDS ICVC-JAPAN FUND	2,275	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,771	2.1
タクマ共栄会	1,735	2.1
GOVERNMENT OF NORWAY	1,718	2.1
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,688	2.0
株式会社三井住友銀行	1,621	2.0

（注）持株比率は自己名義株式47千株を控除して計算しております。

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がお持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例）25株ご所有の株主様 → 75株を買増しして、100株にすることができます。

単元未満株式の買取り

株主様がお持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例）25株ご所有の株主様 → 25株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお申し出ください。

情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

https://www.takuma.co.jp/

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権　3月31日 剰余金の配当　期末　3月31日 中間　9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 ＊（ご注意）3.をご参照ください。
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 〒168－8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ＴＥＬ　0120－288－324（通話料無料）
公告方法	電子公告（当社のホームページに掲載） (https://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場証券取引所	東京（証券コード：6013）
単元株式数	100株

（ご注意）

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。
3. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関にお問い合せください。なお、2019年7月1日より、特別口座管理機関を三菱UFJ信託銀行から上記のみずほ信託銀行に変更いたします。6月30日までは、従来通り三菱UFJ信託銀行の下記ご連絡先にお問い合せください。

連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ＴＥＬ　0120－094－777（通話料無料）

TAKUMA
株式会社タクマ

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK